

令和7年度第5回公立大学法人滋賀県立大学役員会議事録

日時・場所：令和7年8月5日（火）15:30～16:20 評議会室

出席者：井手理事長、福永副理事長、森下理事、松岡理事、中嶋理事、杉江理事、山本監事、元永監事

欠席者：北村理事、高橋理事

事務局：中井事務局次長、前田総務課長、古澤財務課長、寺村経営企画課長、堀口学生・就職支援課長、川崎教務課長、小椋地域連携・研究支援課長、越後高専開設準備局長、堀江高専開設準備局次長、藤居課長補佐、畑野主任主事

令和7年度第4回公立大学法人滋賀県立大学役員会議事録（案）は、原案のとおり承認された。

議 題

（審議事項）

1 令和6年度事業報告について

寺村経営企画課長から資料に基づき説明があり、原案のとおり承認された。

2 学部・学科再編の方針について

理事長から資料に基づき説明があり、原案のとおり承認された。

〔主な意見・質疑等〕

- ・情報分野について、滋賀大学のデータサイエンス学部との違いはなにか。

→一般的にデータサイエンスは、データの存在を前提にその活用方法を探るものである。本学の場合は、地域の課題解決を目的としており、地域課題の場合、そもそもデータが存在しないケースが多い。課題に応じて適切なデータを自ら収集し、処理・予測・結果の活用までを一貫して行うことを考えている。さらに、再編後の5つの分野と情報とを連携させることで差別化を図っていく。

3 令和8年度予算編成方針（案）について

古澤財務課長から資料に基づき説明があり、原案のとおり承認された。

4 令和7年度補正予算（案）について（長期継続契約の変更）

古澤財務課長から資料に基づき説明があり、原案のとおり承認された。

〔主な意見・質疑等〕

- ・クラウドサービス利用料の支払い時期を変更するのはなぜか。

→勤務情報システムは、クラウド上でシステム構築・運用を行う仕様としており、事業者がシステム構築を行う段階から、クラウドを使用することになるため、構築段階のクラウド使用料に関しては本学から別途支払いを行うことを想定していたが、構築段階のクラウド使用料を含め、システム完成後に、検収をもって支払うことが適切であると判断を改めたことから支払い時期を変更する。

- ・システム完成後とは、テスト稼働期間終了後のタイミングか。また、本格稼働後の不具合への対

応はどうするのか。

→完成後とは、システム構築が完了したタイミングである。テスト稼働以降に生じた不具合については、運営保守料等で対応していく。

(報告事項)

1 オープンキャンパス 2025 の結果概要について

川崎教務課長から資料に基づき報告があった。

(その他)

1 法人の組織体制構築の進め方について

前田総務課長から資料に基づき、11 月役員会で定款変更について審議する旨、説明があった。

2 育児介護休業法改正に伴う学内規程等の改正について

前田総務課長から資料に基づき、9 月役員会で審議する旨、説明があった。